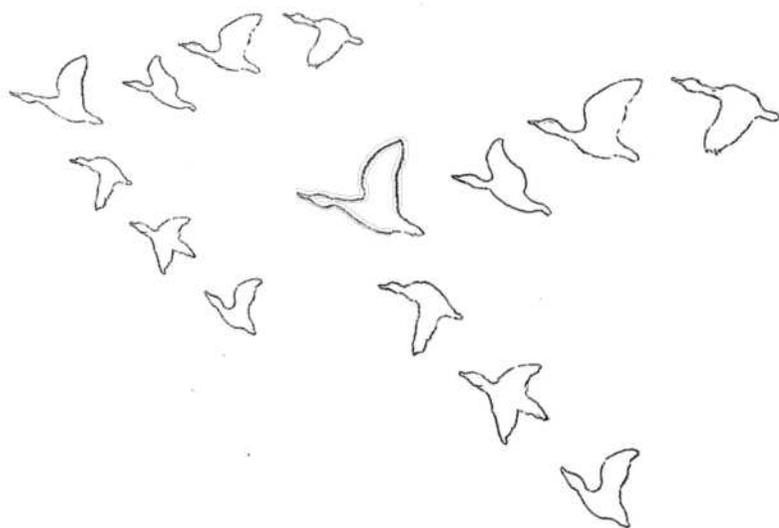


参考資料 1



NPO法人国際自然大学校 40周年
自然文化創造

2023年4月18日発行

編集 発行 NPO法人国際自然大学校

〒201-0004

東京都狛江市岩戸北4-17-11

電話 03-3489-6582

FAX 03-3489-6921

メール info@nots.gr.jp

印刷所 株式会社 三協社

※本誌の内容を無断での複写・転載はご遠慮ください。



▲HPはこちらから

NOTS
OUTFITTER
since1983

40
th Anniversary

NPO法人国際自然大学校

自然文化創造



国際自然大学校のはじまり



理事長 佐藤初雄

あれは確か大学に入学した頃の授業で、「野外教育概論」という教科がありました。初めて聞くもので、その時はあまり興味を持たなかったと記憶しています。大学2年生の夏休み前には、全ての学生が履修しなければならない4大実習があり、その一つにキャンプ実習がありました。その補助学生として、約1か月間、長野県菅平高原にある実習地に籠りきりになりました。

まさに、寝ても覚めてもキャンプ、キャンプです。その後は夏休みに3泊4日の子どもたちのためのキャンプがあり、そのリーダーとしてこれもまた約1か月間キャンプ三昧でした。

その経験から当初は、教員になることを目指して入った大学でしたがいつの間にかキャンプの指導者になることを夢見るようになりました。教育実習の経験や教員採用試験の勉強などをしていくうちに、やはり何かが違うと強く思いはじめ、結局は採用試験も形だけ受験したものの、全くその気はありませんでした。卒業と同時にイギリスにある冒険学校アウトワードバウンドスクールのスタンダードコースに参加しました。

その大学時代から冒険学校に参加するまで行動を共にしたのが「国際自然大学校」を創設することになった櫻井義雄氏です。大学時代の同級生であり、共同経営者となりました。これが1983年にスタートした国際自然大学校の物語です。



子どもを対象にした組織キャンプ。非日常の中で、初めて出会う人たちと自然環境の中で初めて体験することを経験すること。これが野外教育でした。その活動は夏だけにとどまることなく、冬には雪上活動やスキーなども行いました。翌年にはこれらの活動を月一度行い年間を通じて参加してもらう事業「子ども体験教室」が誕生し、またこうした野外活動を学校が実施する自然教室にも、仕事としてかかわるようになりました。

やがては、こうした活動を通じて企業の社員教育も手掛け、自治体が行う事業にも広がりを見せるようになり、決して順調ではないが、仕事はどんどんと広がっていきました。その後は自治法の改正により、これまでは行政が行っていた青少年教育施設運営ができるようになり、川崎市黒川青少年野外活動センターを皮切りに、今では12か所の運営を行うまでになりました。

職員数も70名を超えるまでになり、非常勤職員まで入れると100名を超えるまでの大きな組織になりました。しかしながら、ここまでになったのは多くのボランティアや支援者、そして実際に参加してくれた子どもたちがいたからであり、こうした沢山の方々にこの場を借りて深くお礼を言いたいです。本当に感謝しています。

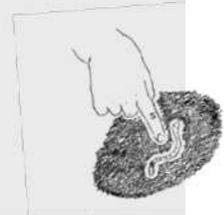
まだまだ、理想の形までは程遠い状況ではあるけれど、40年の年月を経て、このような形になることまでは来ることができたので、これからも奢ることなく一生懸命、前向きに頑張っていきたいと思っています。引き続きご支援ご協力をお願いいたします。次なる50周年いや100周年を目指して、日本に世界に山積している課題を解決するために、これからも活動を続けていきたいです。



History

国際自然大学校 の あゆみ

- 1983年 国際自然大学校設立
- 1984年 子ども体験教室開設(子どもの事業) 指導者養成開始(指導者の事業)
- 1985年 アウトフィッターコース開始(大人の事業)
- 1987年 実習所開設(指導者養成校～2017年)
- 1993年 国際自然大学校 日野春校開設
- 1999年 いいはる自然学校 受託運営開始(～2011年)
- 2000年 NPO(特定非営利活動)法人 認可取得
- 2003年 日光露降校 開設
- 2006年 川崎市黒川青少年野外活動センター指定管理者として運営開始
埼玉県青少年総合野外活動センター指定管理者として運営開始(～2010年)
埼玉県立名栗げんきプラザ指定管理者として運営開始
- 2007年 沖繩校 開設
- 2010年 神奈川県立愛川ふれあいの村指定管理者として運営開始
- 2011年 埼玉県立神川げんきプラザの受託運営開始
横浜校 開設
- 2012年 埼玉校・福岡校 開設
- 2013年 葛飾区立日光林間学園指定管理者として運営開始
- 2014年 厚木市七沢自然ふれあいセンターの受託運営開始
- 2015年 京都校 開設
大田区立伊豆高原学園 PFI事業として運営開始
- 2016年 青山オフィス開設(～2019年)
神戸校 開設
川崎市青少年の家 指定管理者として運営開始(～2020年)
千葉県立水郷小見川少年自然の家 指定管理者として運営開始
- 2018年 東京校・日光露降校・横浜校・埼玉校を統合して本校へ名称変更
京都校・神戸校・大阪校・大津校を統合して関西校へ名称変更
芦屋オフィス開設(～2020年)
- 2021年 明石市立少年自然の家 指定管理者として運営開始(～2020年)
板橋区立八ヶ岳荘 指定管理者として運営開始
川崎市工禪寺四ツ田緑地 委託運営開始
明石市立少年自然の家 委託運営開始
- 2023年 Nature Factory 東京町田 指定管理者として運営開始



国際自然大学校の理念

国際自然大学校は、自然の中で体験活動を通して子どもから大人まで、よりよい人間形成のための教育活動を開発し、実施しています。その活動では、自然の中で他者との人間関係を育むことを、自分の人生に挑むことを、体験します。私たち国際自然大学校の理念は、様々な体験型の野外教育・環境教育プログラムを選【自然や人とのかかわりの中で人生を前向きに生きている人、「アウトフィッター」を育てること】です。

当団体のキャンプは、学校や家庭などではできない自然の中での様々な体験活動を通して、子どもたちの社会性(コミュニケーション力や協調性など)や人間力(思いやりや優しさなど)を伸ばしていくことを目指しています。「自然体験」や「遊び」の中から感じた様々なことを元に、子ども達自身が考えて行動できるよう、体験学習法という指導法で、スタッフがともに活動します。



当団体が大切にしていること

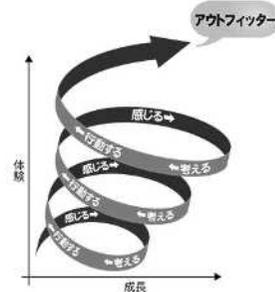
1. 感じ・考え・行動する力をつける



- 継続性による、体験の積み重ね
- ラーニングサイクルを引き出すプログラム
- チャレンジできる環境作り

『遊びの中の発見と感動～ラーニングサイクル～』

自然の中で遊ぶ体験を通して、子どもたちは色々なことを感じます。その感じたことを考えて、考えたことを次の行動にいかす。当団体のプログラムは、活動の中に、そんなプロセスを作っています。単に様々な「体験活動」を楽しむだけでなく「感じ・考え・行動する」＝ラーニングサイクルを繰り返す経験こそが成長につながります。トライ＆エラーから学ぶことは大事な経験。エラーをしないことを教えるのではなく、トライできる環境を整えること、「やってみよう!」という気持ちを引き出す指導を行っています。



2. 多様な「人」とのかかわりから学ぶ

- 新しい友だち・仲間をつくる
- 親でも先生でもないスタッフとの出会い
- 社会の一員としての在り方や公共のルールとマナー

3. 「自然」とのかかわりから学ぶ

- 自然の中での発見・感動・探究
- 自然環境に配慮する行動
- 自然の中で、ココロもカラダも
のびのびと

4. 現代社会で不足している実体験の機会

- 道具を正しく使うスキル
シンプルな道具(火・刃物・地図・ロープなど)を
使える技術は一生もの
- 創意・工夫する力を養う
今いる環境・ある物で快適に過ごすための発想の転換
- 自分の身は、自分で守る
変化する環境の中での判断力、危機回避能力を養い
防災の意識を身につける



Project /

国際自然大学校の事業紹介

主催事業

都内近郊の子どもたちを中心に、1年を通して多種多様な自然体験活動を実施しています。中でも「子ども体験教室」は国際自然大学校設立翌年よりスタートし、2023年度で39年目を迎えます。「年中から中学校3年生まで、最大11年間の継続性」をキーワードに展開する通年活動で、継続的だからこそ生まれる子どもたち同士の関わり合いや成長を大切にしています。「夏休み」「冬休み」などの長期休みに開催する「シーズンキャンプ」では、「川」「山」「海」「雪」と多様なフィールドでその季節ならではの自然体験を提供しています。

特徴的なプログラムとして挙げられるのが「のあそびくらぶ」です。「森のようちえん」の考え方をベースとして、「何してあそぶ?」から始まる子どもたちの「想像力」を大切にしている活動で、2006年より継続して展開しています。

受託事業

設立当初より、学校、行政、企業と様々なクライアントからの事業を受託しています。「ひのはる冒険教育プログラム」では年間約30校の小中学校に対して、クラスメイトとの関係づくりプログラムを提供しています。また「北区イングリッシュキャンプ」では北区中学校(全12校)の「英語を活用した自然教室」の全体コーディネートを引き受けるなど、野外活動のプロとして、小中学校の自然教室に携わっています。

冒険活動を通年で行う「植村冒険館自然塾」や野外活動を用いて健康推進を図る「大田区ぜんそく児キャンプ」など、冒険教育や自然体験のノウハウを活かした行政との事業、将来教員を目指す大学生への野外実習や新入生向けのオリエンテーションプログラムといった研修事業まで、自然体験や冒険教育のノウハウを活かした受託事業を受注しています。



施設運営

施設運営部では、より多くの青少年の健全な育成に寄与するため、2006年より公の野外教育施設の管理運営をスタートしました。現在では1都7県に設置されている12か所の運営に携わっており、自治体の様々なご要望に応えるために、指定管理者制度、PFI、業務委託など、様々な制度に対応し運営しています。運営の際は、団体への自然体験活動の助言や協力、施設主催の自然体験活動プログラムの企画、施設のボランティアスタッフの育成など、長年にわたって多くの子どもたちに自然体験活動を提供してきた国際自然大学校の経験やノウハウを存分に活かし施設を管理運営しております。

また、近年では新たに保全緑地の管理運営も受託し、様々な場所で、多くの人々が自然体験活動に触れる「場づくり」を続けています。

国際自然大学校の事業所紹介

より多くの青少年の健全な育成に寄与するため、公の野外教育施設の管理運営に携わっております。団体への自然体験活動の助言や協力、施設主催の自然体験活動プログラムの企画、施設のボランティアスタッフの育成など、これまでの経験やノウハウを存分に活かし、施設を管理運営しております。

国際自然大学校 日野春校

山梨県北杜市

第二のふるさと

1993年に開校した日野春校では、「いついつキャンプ」と呼ばれる事業が開校以来約30年間にわたり続いています。「第二のふるさと」をコンセプトに、子どもたちの「作戦会議」で活動内容が決まります。また同事業では、都留文科大学アウトフィッターサークルの学生が長年に渡り主体的に携わっています。2023年で20周年を迎え、長きにわたり「よきお兄さん、お姉さん」として「第二のふるさと」を時に優しく、時に厳しく見守っています。



大田区立伊豆高原学園

静岡県伊東市

PFI事業

温暖な気候と自然に恵まれた「富士箱根伊豆国立公園」内に位置し、大田区の学校校外施設としての機能と、区民等一般利用の保養目的の二つの機能を併せ持つ体験型宿泊施設です。2015年4月から管理運営を開始。運営方法は、民間事業者のノウハウを積極的に導入できる【PFI事業方式】を採用しています。国際自然大学校では、学校対応の他、塩づくり体験や、海の漂流物をつかったアート作品づくりなど、豊かな海を活かしたプログラムを展開しています。



葛飾区立日光林間学園

栃木県日光市

教育と観光の交わる拠点

葛飾区立日光林間学園は、教育と観光、2つの顔をもつ宿泊施設です。教育施設として葛飾区6年生の移動教室を受入れ、日光地域のシカの被害について学べるシカ革プログラムを実施し、保養施設として一般利用を受入れ、星空観察や森のようちえんといったプログラムも開催しています。学園は、宿泊施設だけでなく、プログラムを通して自然・歴史・人との関わりを学び、考え、行動できる人になってほしいと思い、日々の運営を続けています。



埼玉県立名栗げんきプラザ

埼玉県飯能市

地域との深いかかわり

名栗げんきプラザでは、2023年で指定管理を受けて17年目となります。当初から取り組んでいたのが、施設のある飯能市との連携です。地域のお祭りの実行委員としての関わりや地域団体と連携事業を行いました。特に有間渓谷観光釣り場で実施している「飯能市長杯親子釣り大会」は200名以上が参加する人気事業で、「初めての釣りが楽しかった」や「また家族で遊びに来ます」など、参加者の満足度は高く、10年以上続いています。



国際自然大学校所在地

本校・本部事務局
日野春校
関西校
福岡校
沖縄校

指定管理者として運営する施設

川崎市黒川青少年野外活動センター
埼玉県立名栗げんきプラザ
埼玉県立神川げんきプラザ
神奈川県立愛川ふれあいの村
葛飾区立日光林間学園
千葉県立水郷小見川青少年自然の家
板橋区立八ヶ岳荘
Nature Factory東京町田

PFI事業に携わっている施設

大田区立伊豆高原学園

管理運営業務を委託されている施設

厚木市立七沢自然ふれあいセンター
明石市立少年自然の家

緑地の利活用運営業務

川崎市王禅寺四ッ田緑地

国際自然大学校のスタッフ紹介

国際自然大学校の一番の財産は、現場で働く職員です。
多岐にわたる事業の中で、各自の個性を現場での業務に活かしながら活躍しています。
その強みの一部を紹介します。



川崎市黒川青少年野外活動センター | マネージャー

野口透
ロバ



開拓から始まる自然体験

NOTSの設立当初から関わった私がしてきた事は良い体験が出来るフィールドを作る(開拓する)ことです。10周年の時に始まった日野春校では、手づくりのキャンプ場があり素敵な自然体験活動が行われています。当時山の斜面を削って平らにし、藪を刈ってフィールドを作るところからのスタートでした。今では黒川のセンター脇の電車山の藪を、フィールドとして整備したり、川崎市より四ツ田緑地の管理運営も任されるようになりました。いちから作るフィールドは、我々の自然体験活動を実施するために必要です。自分達で、整備や開拓をして、愛着のあるフィールドを作る事で、より思いのこもった活動が行えるのです。



大田区立伊豆高原学園

高塚都喜子
たま

職員交流の場づくり

コロナ禍以降、職員同士が直接話をする機会がなくなってしまい、コミュニケーションの希薄化が見られ危機を感じました。そこで「たまに会う会」という会を立ち上げ、職員がオンライン上で交流する機会をつくりました。アウトドアクッキングのアイデア出しや、オンラインレクの体験会、これからやってみようことを話す時間など、年4回テーマに沿ったアイデア出しや情報交換、近状報告を行っています。参加対象者を若手～中堅を中心としているので、肩の力を抜いて、楽しく参加できるよう工夫しています。この会を通して、職員同士の横のつながりを強化しているよう取り組んでいます。



営業部 | 日野春校

真壁拓也
らむ

冒険教育の魅力

私が冒険教育に出会ったのは大学生の時です。活動内容のインパクトがあったのはもちろんですが、自分自身の感情・考え方・価値観の変容が大きく起きたことで、プロセスの大切さについて身をもって知った時間となりました。自分が変わる原点になったからこそ、少しでもポジティブな変化のきっかけになって欲しいと思っています。そのためにも「できる」「できない」より「やってみる」こと。そう思えるための背中を後押しできる人であり続けたいです。

食べる里山体験

2022年、「里山メンマプロジェクト」を発足、黒川青少年野外活動センターと共同で行いました。兵庫県淡路島で行われている「島ちく」を参考に、「食べる竹林整備」として企画しました。四ツ田緑地のテーマの中に、里山体験があります。大きな竹林(非日常)と、メンマ(身近な食材)を繋げることで、竹林整備が里山体験になります。人の生活と関連させることにより、遠かった自然を近くに感じてほしい。保全活動というのは大層なことではなく、里山暮らしの中で行われる小さな活動の積み重ねだと、日々伝えています。



川崎市王禅寺四ツ田緑地

小川奈々代
かぼちゃん



株式会社ノッツ

国際自然大学の関連会社として1988年に設立されました。
以来NPO法人国際自然大学校と株式会社ノッツは、共に歩み、
たくさんの人たちに自然体験の機会を提供してきました。



Now we fly away

今、私たちは飛び立つ

2023年の40周年を前に、株式会社ノッツはこれまでチャレンジしてこれなかった「プレミアムな子ども向けキャンプ事業」を展開するべく新たな一歩を踏み出しました。それが、株式会社ノッツが運営する「TOKYO ADVENTURE CLUB」です。

「TOKYO ADVENTURE CLUB」では1年を通して活動する「Year round Adventure」長期キャンプや遠征などのダイナミックな冒険ができる「Season Adventure」すべてカスタマイズできる「Custom Made」

企業の研修や社会貢献など様々な舞台上で自然体験を提供する「Collaboration Business」の4つの事業を展開します。

国際自然大学校 未来ビジョン



自然体験活動を通じて 人々が幸福になること

国際自然大学校のこれからはどのような組織になっていくのだろうか。
これまで通り理念は「アウトフィッターの育成」である。
その手法は自然体験活動を通じて子どもから大人まで全ての人を対象に行われる。
拘るキーワードは教育、環境、健康、国際、地域振興。
具体的には主催事業、受託事業、指定管理者制度による青少年教育の運営。
こうした様々な活動を行うことで、アウトフィッターを育成したい。
では、その先にあるビジョンはどのようなものなのだろうか。

人が元気になる
自然が元気になる
そして地球が元気になること

つまりは、人々が幸福になることである。

そのためには、持続可能な社会そして地球が必要なのである。
私たちはそのために活動を今後も続けていきたい。

理事長 佐藤初雄



これからの国際自然大学校に期待すること

櫻井義維英

国際自然大学校40周年。おめでとうございます。そして、よくやってきたな～というのが正直な思いです。佐藤理事長とは、大学時代から数えれば、もう47年になります。思い出話はさておき、お題の、これからの期待することをお話しましょう。すでに国際自然大学校は自然体験の世界では、フラッグシップであることはほぼ間違いありません。ならば、自団体の健全な運営はもちろんです。その上で、この業界の進む道を指し示し、かつ後に続く人々に手を差し伸べてあげるのが大切な役割なのではないでしょうか。その行先を見通し、支援することができる人材を輩出してくれることに期待をしています。



PROFILE

1983年国際自然大学校を佐藤初雄氏とともに設立。その後自然体験活動推進協議会事務局長、千葉自然学校指定管理の千葉県立大原少年自然の家所長、国立赤城青少年交流の家所長、あしなが育英会事務局長を歴任。2015年7月には全ての職を辞し、自然体験教育の若手リーダーを育てるために私塾「造林社中」を主宰。





📌 重要なお知らせ

2023/03/12 [【更新】施設の利用について](#)

📌 トピックス

- 2023/10/03 [11/12 あそびカアップ！デイキャンプ秋 募集](#)
- 2023/10/02 [【追加募集】10/21、10/22 親子ツリークライミング体験 募集](#)
- 2023/09/19 [11/12 あそびカアップ！デイキャンプ秋 募集案内](#)
- 2023/09/08 [10/18 大人のためのスパイス講座 募集](#)
- 2023/08/29 [10/21、10/22 親子ツリークライミング体験 募集](#)

[過去のトピック >>](#)

＼ 📌 黒川でやってみよう /



イベント

大人のためのスパイス講座

2023年10月18日(水)開催
100種類のスパイスから自分のお気に入りを探してブレンドし、オリジナルスパイスソルト作りをします。

[イベント一覧 >>](#)



イベント

【追加募集】親子ツリークライミング体験

2023年10月21日(土)①③④、10月22日(日)⑤⑥⑦開催
抽選枠を調整した結果、空きが出ましたので、参加者を追加募集いたします！



体験

ドラム缶ピザ (指導つき)

ドラム缶オープンを使い、生地からピザ作りを行います。この活動を通じて、役割分担やチームワークの大切さを学ぶこともできます。

[体験一覧 >>](#)

🎵 黒川イベント情報

大人のためのスパイス講座

2023年10月18日(水)

キャンセル待ち



【追加募集】親子ツリークライミング体験	2023年10月21日(土)①③④、10月22日(日)⑤⑥⑦	募集中
くろかわ森のようちえん 親子でおさんぼくら	10/25(水),2024/2/28(水),3/13(水)	募集中
あそびカアップ!デイキャンプ秋	2023年11月12日(日)	キャンセル待ち
焚き火Café	11/30(木),12/20(水),3/22(金)	募集中
ネイチャーボランティア	10/8(日),11/5(日),12/3(日),2024/1/7(日)	募集中
くろかわ森のようちえん のあそびくらぶ	10/11,10/25,11/1,11/15※水曜日	募集中
くろかわ森のようちえん いちにちのあそび	10/7(土),11/25(土),12/26(火)冬休み,2/23(土)	募集中
スローライフクラブ	2023年4月~2024年3月	随時募集中
親子ツリークライミング体験	2023年10月21日(土)①②③④、10月22日(日)⑤⑥⑦⑧	満員
オールナイト焚き火Café	11/30(木)~12/1(金)	10/23受付開始
くろかわ親子カフェ	12/6(水)	10/28受付開始

2023年 10月							
月	火	水	木	金	土	日	
	2日	3日	4日	5日	6日	7日	1
9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	いちにち ネイチャーボランティア
16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	ツリークライミング ツリークライミング
23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	のあそび 親子おさんぼ
30日	31日	1日	2日	3日	4日	5日	のあそび ネイチャーボランティア

休所日

[年間予定一覧 >>](#)

new どんぐり山通信 🍄 /



2023/10/10
発芽しました



2023/10/09
雨のどんぐり山



2023/10/08
10/8 ネイチャーボランティア



2023/10/07
10/7 いちにちのあそび

[どんぐり山通信 >>](#)

[ニュースレター >>](#)

[旧どんぐり山通信 >>](#)

感染症対策について



マスク着用について

マスク着用は、従来同様、基本的な感染防止対策として重要と考えています。

<マスク着用推奨の場面>

(1)屋内 (2)3密回避ができない状況



消毒のお願い

消毒液の貸し出し、「ハンドソープ」常設を行い、手洗い手消毒ができる環境をご用意しております。



利用人数・スタッフ管理の徹底

利用人数の制限は解除しておりますが、各利用団体におきましては、構成メンバーの事前の健康チェックの徹底をお願いします。

(3)野外を含む調理時

なお、屋外で一定の距離を保てる、屋外における密にならない遊びや運動、熱中症のリスクが高い場合等におけるマスクは、外して可とします（または利用団体の方針に委ねます）。

センター職員は、当日はもちろん前日までの体調管理も、定められたガイドラインにそって徹底して行っております。

川崎市黒川青少年野外活動センター

〒215-0035

神奈川県川崎市麻生区黒川313-9

TEL : 044-986-2511 FAX : 044-986-2522

指定管理者 NPO法人国際自然大学校



お電話



お問い合わせ

✉ お問い合わせ

👤 プライバシーポリシー

📄 当サイトに関して



Copyright 2023 川崎市黒川青少年野外活動センター All rights reserved.



館内案内

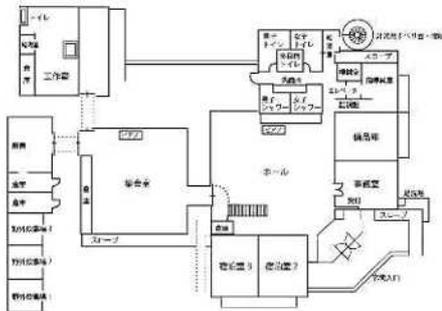
館内案内

屋外案内

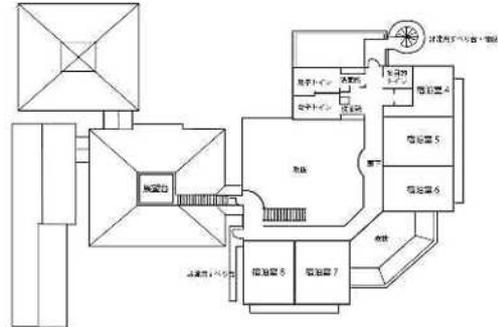
スタッフ

🏠 フロアマップ

◆ 1F



◆ 2F



- 施設のご利用は、事前の予約が必要です。
- 規則等をご理解の上、マナーを守って施設を利用してください。
- 施設内は全面禁煙です。
- 社会情勢や状況などにより下記記載の定員の制限をさせていただく場合がございます。

[利用案内はこちら >>](#)

[屋外案内はこちら >>](#)

🏠 集会室



- 集会・研修、食事などができます。
- 長テーブル・椅子・ホワイトボードが使用できます。
- 利用人数の目安は40名程度です。

11 工作室



- 工作・研修、食事などができます。
- 部屋の半分が板の間、もう半分は土間になっています。
- 座卓・ホワイトボードが利用できます。
- 室内に流し台、冷蔵庫とトイレがあります。
- 利用人数の目安は20名程度です。

12 厨房



- 別の団体と共有利用となります。
- 調理台・ガスコンロがあります。
- 冷蔵庫は、厨房・工作室にあるもののうち、どちらか1台を利用できます。
- 2口ガスコンロを5台備えています。

1 宿泊室



- 原則、宿泊利用者のみご利用いただけます。
※宿泊者がいない場合、宿泊室2,3はミーティングでの利用に限り日帰りの方もご利用できます。【要事前相談】
- 和室。15畳が6室、7.5畳が2室あります。
- 宿泊室4は6名、その他の宿泊室は各11名、指導員室は4名が定員です。
- 各部屋、エアコンがございます。
- 毛布以外の寝具の備え付けはありません。必要に応じてタオルケットや寝袋等をご持参ください。
- 寝袋の有料レンタル（260円/1つ）もございます。
- 各部屋、備え付け毛布・座卓があります。

1 ホール



- 共有スペースです。
- 本・雑誌があります。
- 利用人数の目安は40名程度です。



📷 その他の様子



正面玄関



受付の様子



展望台



シャワー室

男女各3か所シャワーがあります。

川崎市黒川青少年野外活動センター

〒215-0035

神奈川県川崎市麻生区黒川313-9

TEL : 044-986-2511 FAX : 044-986-2522

指定管理者 NPO法人国際自然大学校



お電話



お問い合わせ

📧 お問い合わせ

👤 プライバシーポリシー

📄 当サイトに関して



Copyright 2023 川崎市黒川青少年野外活動センター All rights reserved.



屋外案内

館内案内

屋外案内

スタッフ

敷地内地図



- 施設のご利用は、事前の予約が必要です。
- 規則等をご理解の上、マナーを守って施設を利用してください。
- 施設敷地内は全面禁煙です。
- 社会情勢や状況などにより利用人数の制限をさせていただく場合がございます。

[利用案内はこちら >>](#)

[館内案内はこちら >>](#)

📍 野外炊事場





- 別の団体と共有利用となります。
- 【かまど3つとながしを備えた区画】が3つあります。

📍 グラウンド



- 別の団体と共有利用となります。
- 焚火・クッキングなどの火気の使用も可能です。
- 野外トイレがあります。

📍 どんぐり山



- 別の団体と共有利用となります。
- 散策ができます。



U字溝

火を焚くことができます

ファイヤーサークル
火を焚くことができます



野外トイレ

川崎市黒川青少年野外活動センター

〒215-0035

神奈川県川崎市麻生区黒川313-9

TEL : 044-986-2511 FAX : 044-986-2522

指定管理者 NPO法人国際自然大学校



お電話



お問い合わせ

✉ お問い合わせ

👤 プライバシーポリシー

📄 当サイトに関して

